

様式第 2 号（第 9 条関係）

会議録

会議の名称	令和 5 年度第 2 回ふじみ野市地域自立支援協議会		
開催日時	令和 5 年 7 月 2 8 日（金） 開会時刻 午後 2 時 0 0 分 閉会時刻 午後 4 時 0 0 分		
開催場所	大井総合支所 1 階 災害対策室		
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名 氏名
	会長	中島 修	委員 相澤 秀一
	副会長	柳川 道子	委員 伊藤 由里子
	委員	小菅 友美	委員 野原 眞二
	委員	河田 智美	委員 冨田 和枝
	委員	福應 渉	
	委員	利根川 陽子	
会議の議題	(1) 令和 4 年度ふじみ野市基幹相談支援センターの事業報告 (2) 令和 4 年度ふじみ野市基幹相談支援センターの評価について (3) 障がい者福祉計画の進捗状況報告について (4) 第 2 期障がい者プラン（後期）骨子（案）について (5) 部会報告		
会議の公開又は非公開の別	公開		
会議の非公開の理由			
傍聴人の数	1 人		
会議の内容	別紙のとおり		
会議資料	別添のとおり		
事務局	福祉部障がい福祉課		
議事の確定	確定年月日	令和 5 年 8 月 1 4 日	
	記名押印 又は署名	役職名 会長  中島 修 ㊟  ※自署の場合は、押印不要です。	

## 会議の内容

### (1) 令和4年度ふじみ野市基幹相談支援センターの事業報告

〈概要説明〉(事務局)

〈質問事項等〉

○昨年度、児童発育・発達支援センター公設となった。今後の障害児相談支援の見通し、児童発育発達支援センターとのすみわけを教えてください。

⇒障がい者総合相談支援センターは18歳以上がメイン、児童発育・発達支援センターは18歳未満をメインとしているが、事業所連絡会に相互に出席して情報共有を図り、連携の強化に努めている。18歳を迎える時に円滑に支援できるようにするため18歳以上をイメージした計画作成となるよう、見える化を図るための表を作っている。(事務局)

○相談実績における「一般」の表記について、地域定着移行支援の「指定一般相談」の実績と誤解する可能性がある。紛らわしいため、表記を変えたほうが良いのではないか。

⇒昨年度開設した基幹相談の見える化を図るため、基幹相談に係るもの以外を「一般」と表記している。(事務局)

〈評価・要望〉

○アンケート調査結果をみると障害児の教育に関する相談先が少ないことがうかがえる。

基幹相談支援センターの周知が足りないのではないか。

### (2) 令和4年度ふじみ野市基幹相談支援センターの評価について

〈概要説明〉(事務局)

〈評価・要望〉

○評価の根拠が明確でないと評価が難しい。基幹は取り組んだ内容のエビデンスを示し、A評価が増えるようにした方が良い。

○障害児・者の就労に関して、保護者と本人の要望が一致しないことが多い。障がい者総合相談支援センターりあんでも支援方法を一緒に考えてもらえるとありがたい。

⇒勤続3年以上の就労定着数は増えている。長く続けられるよう今後もできる限り支援していきたい。(事務局)

○中途障がい者について、障害者手帳を持たない方へのアプローチが課題だと考

えている。

練馬区では中途障がい者の通所事業を行っている。見える化を図るため、とにかく様々な方法で障がい者総合相談支援センターりあんの周知を行う必要がある。

⇒第1歩が難しい方へのアプローチを考えていくとともに、基幹相談支援センターのPRについても考えていく。(事務局)

(3) 障がい者計画の進捗状況報告について  
〈概要説明〉(事務局・コンサルタント)

〈質問事項等〉

○福祉施設から一般就労への移行等について、実績値28人のうち就労移行支援、就労継続支援A型・B型を合わせると13人となっている。

実績と内訳の合計が合わないのはなぜか。

⇒一度A型又はB型をやめた後に、就労支援で就労につながった実績があるため数値が合わない。延べ人数が28人である。(事務局)

〈補足事項〉

○日中活動の実績について、福祉型と福祉型(強化)に分かれている。福祉型(強化)が追加されたため福祉型の数値が低くなっている。

(4) 第2期障がい者プラン(後期)骨子(案)について  
〈概要説明〉(事務局・コンサルタント)

〈要望事項等〉

○児童に対する合理的配慮について、学校・幼稚園・保育園・事業所など関係機関においても理解が進んでいないことを念頭に計画の策定を進めてほしい。

○事業者の合理的配慮について、労働局・ハローワークで事業者向けの講習を実施しているが、企業は責任者が変わると引継ぎが難しいように感じている。  
また、民間企業では合理的配慮を特に意識せずに、サービス(接客)の一環としてお客様への配慮ができていると思う。  
市のホームページなどで取組事例などを情報発信するとよいのではないか。

○「8050問題」「重層的支援体制」について計画内で触れてほしい。

○P8. 新型コロナウイルスに限定せず、感染症や災害等の関わりについての記載にしてほしい。

○重度障害者の親亡き後の問題に関連して、国は入所施設をつくらない方針だが、ふじみ野市の方針はどうするのか。計画に盛り込む自治体は多い。

(5) 部会報告

〈概要説明〉(各部部长)

○相談部会：7月4日に部会を開催し、計画の見直し案について検討するとともに、基幹相談支援センターの評価を行った。

○就労支援部会：特別支援学校との意見交換会を8月9日に開催する。

○こども部会：次回の部会において、市立児童発育発達支援センターで受け付けた相談について内容を整理・精査する。

○権利擁護部会：7月5日に部会を開催し、計画の見直し案について検討した。今後は合理的配慮に関する周知動画の周知方法を検討していく。

○精神部会：7月10日に事業所向け勉強会を開催した。  
7月15日に部会を開催し、計画の見直し案について